

かごしま環境未来館 環境やリサイクルを学んでみませんか

環境学習講座 講座名 日 時
ネイチャーゲーム「身近な自然とつながろう！」(親子講座) 11月14日(土)10時~13時
あひの柴ちゃん! / ハーブで寄せ植え 11月20日(金)11時~12時30分
鹿児島島の魅力を知る 11月21日(土)10時~12時
自然を活かした環境づくり @ 平川動物公園 11月21日(土)13時30分~15時30分
おうちでできるヘチマ化粧水 11月26日(木)10時~11時
男のエコなクッキング※ 11月28日(土)10時~14時
かごしまの足下を知る 11月29日(日)10時~12時
あひの柴ちゃんで作るクリスマスリース 12月4日(金)13時30分~15時
地球のめぐみ~鹿児島島の温泉~ 12月5日(土)10時~12時
おばあちゃんの知恵袋 12月5日(土)13時~15時
ふるさとかごしま冬の味※ 12月6日(日)10時~14時
マクロビ料理 de クリスマス 12月10日(木)10時~14時
義弘・育彬が見た地形と地質 12月12日(土)10時~12時
江戸時代のくらし 12月12日(土)13時30分~15時30分
かごしま環境探検隊(玉里地区) 12月13日(日)13時30分~16時30分
連続講座 城山でエコツーリズムを楽しもう ①11月15日(日)10時~12時 ②11月22日(日)13時~16時
グリーンコンシューマー養成講座(上級編) ①11月18日(水)13時30分~16時 ③12月2日(水)13時30分~16時

対象 市内に住むか通勤・通学する人
定員 各40人 ※は25人(超えたら抽選)
受講料 無料(材料費などは実費負担)
申し込み 窓口で直接申し込み、往復はがき(1枚1講座)かファックス、Eメールで講座名(開催日)、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話・ファックス番号を各講座開催の1週間前(必着)までに〒890-0041城西二丁目1-5かごしま環境未来館806-6666(FAX806-8000、Eメール kouza@kagoshima-miraikan.jp)



リサイクル工房リサイクル講座

講座名 定員 期 日
マイはし&はし袋作り 20 11月21日(土)
簡単パッチワーク講座 15 11月22日(日)か12月6日(日)
端材で怪獣作り 15 11月23日(祝)
アクリルタワシと重曹活用術 15 11月26日(木)
端材であやつり人形を作る 15 11月28日(土)
端材でクリスマスツリー作り 15 11月29日(日)
癒しのほおずきランプ作り 15 12月2日(水)
鍋帽子でエネルギー節約講座 12 12月3日(木)
創作しめ縄リース作り 15 12月4日(金)
自然の木を生かした木工 15 12月5日(土)
端切れてコサージュ作り 15 12月8日(火)
ダンボールコンポスト講座 15 12月9日(水)
森の実アート(レターケース) 15 12月10日(木)
使い捨てないカイロ作り 15 12月11日(金)
組み立て式マイはし&はし袋作り 10 12月12日(土)
漂流物アート講座 15 12月13日(日)
竹の小皿作り 15 12月15日(火)
いすの張替え講座 12 12月16日(水)
手作りおもちゃ子育て講座 15 12月17日(木)
包丁研ぎ教室 20 12月19日(土)

※時間は13時30分~15時30分 ○は10時~15時 △は13時~15時
対象 市内に住むか通勤・通学する人
定員 超えたら抽選
受講料 無料(材料や道具の準備が必要)
申し込み 往復はがきかファックス、Eメールで、講座名(開講日)、住所、氏名、年齢、電話番号、住所(6月~小学2年生)希望者は子どもの氏名、年齢を各講座の10日前(必着)までに〒890-0041城西二丁目1-5かごしま環境未来館リサイクル工房806-6666(FAX806-8000、Eメール recycle@kagoshima-miraikan.jp)

子どもエコクラブ交流会

内容 ネイチャーゲーム「身近な自然とつながろう!」と子どもエコクラブによる壁新聞を使った活動発表会
対象 高校生までの子どもとその保護者
日時 11月14日(土)10時~13時
参加は無料
場所 かごしま環境未来館
申し込み 電話かファックス、Eメールで、住所、氏名、年齢、電話番号を環境協働課806-6666(FAX806-8000、Eメール kandou04@city.kagoshima.lg.jp)

第11回かごしま環境・新エネルギーフェア

日時 11月21日(土)・22日(日)10時~16時
会場 かごしま県民交流センター
詳しくはかごしま環境フェア実行委員会事務局805-0158へ



災害時の応急復旧訓練

昭和42年度には約450kmでしたが、平成20年度には約3100kmに達しました。これは日本列島の南北の距離とほぼ同じ距離になります。
施設整備に取り組み一方で、老朽施設の計画的な更新などを行い、安定的な給水に向けた取り組みを進めています。
定期的な水質検査のほか、毎日の色、濁りや残留塩素濃度の検査など、厳しい水質検査を行っています。
また、災害時の応急復旧や応急給水の体制を整えるとともに、災害時の断水に備えるた

鹿児島市の水道の状況

表1 給水人口と普及率の推移

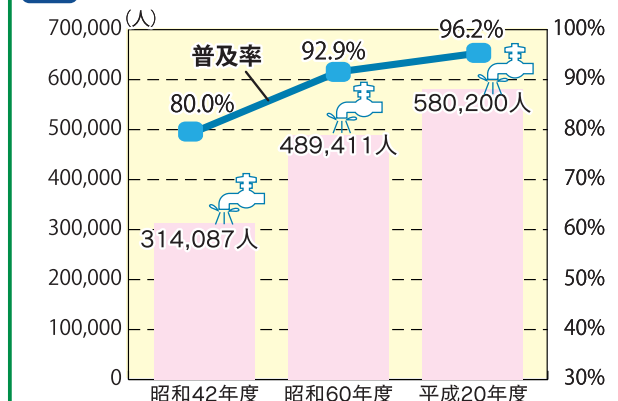
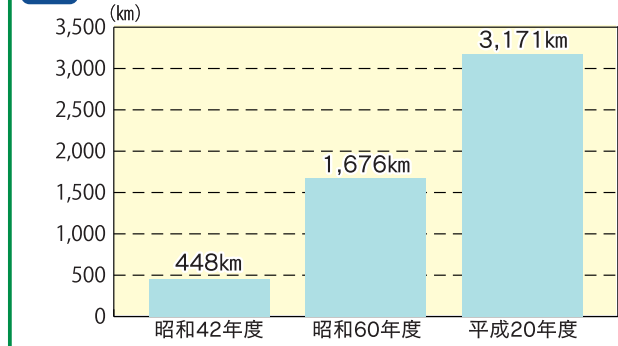


表2 導・送・配水管総延長の推移



昭和42年度には約450kmでしたが、平成20年度には約3100kmに達しました。これは日本列島の南北の距離とほぼ同じ距離になります。
施設整備に取り組み一方で、老朽施設の計画的な更新などを行い、安定的な給水に向けた取り組みを進めています。
定期的な水質検査のほか、毎日の色、濁りや残留塩素濃度の検査など、厳しい水質検査を行っています。
また、災害時の応急復旧や応急給水の体制を整えるとともに、災害時の断水に備えるた

め、平成5年の八・六豪雨災害の断水被害をきっかけにして平成12年に水道応急・維持管理センターを設置したほか、応急給水拠点を57カ所設置しています。
水道局では今年4月に策定した「鹿児島市水道ビジョン」に基づき、これからも安心・安全でおいしい水の安定的な供給に取り組みます。



水道応急・維持管理センター(鴨池新町)

お届けします 安心・安全でおいしい水



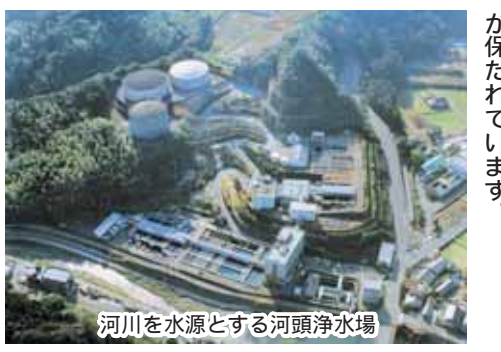
本市の水道事業は大正8年11月に近代水道として通水して、今年で90周年。年間約6900万m³の水を約58万人に供給しています。
水道局のこれまでの取り組みや歴史を通じて、わたしたちの生活に大切な水のことを考えてみませんか。【水道局経営管理課 213-8507】

市民の暮らしを支える大切な水
蛇口をひねればいつでも使える水。水はわたしたちが生活する上で欠かせない存在です。
川や地下水などの水源から取水した水を過・消毒し、安全で良質な水道水にして市内に張り巡らされた水道管を通して、わたしたちの家庭に送られています。
皆さんの生活に必要な水を送り続けている水道事業は、今年で90周年を迎えます。

本市水道の発祥と近代水道の創設
本市の水道の始まりは、藩政時代、現在の冷水町のわき水を水源とし、鶴丸城内と城下の一部に給水したことにより始まります。
昭和30年代に入り、人口増や商工業の活発化など市勢の急速な発展により、それまでの地下水による水源開発では増大する水需要に対応できなくなり、河川を水源とする浄水場の建設が必要になりました。
現在、市内には3つの大規模な浄水場があります。
甲突川を水源とする河頭浄水場
稲荷川を水源とする滝之神浄水場
万之瀬川を水源とする平川浄水場
現在、これらの浄水場を運営することにより、安定的な給水が保たれています。

た記録されています。
明治に入って、市勢の発展による人口増や伝染病の流行をきっかけに、大規模な水道開設への期待が高まり、大正4年に工事に着手しました。
そして大正8年11月に七窪水源地(下田町)・土之原配水池(西坂元町)が完成し、自然流下による水道管での常時給水が行われ、本市の近代水道が始まりました。
市勢の発展による水需要の増加への対応
昭和30年代に入り、人口増や商工業の活発化など市勢の急速な発展により、それまでの地下水による水源開発では増大する水需要に対応できなくなり、河川を水源とする浄水場の建設が必要になりました。
現在、市内には3つの大規模な浄水場があります。
甲突川を水源とする河頭浄水場
稲荷川を水源とする滝之神浄水場
万之瀬川を水源とする平川浄水場
現在、これらの浄水場を運営することにより、安定的な給水が保たれています。

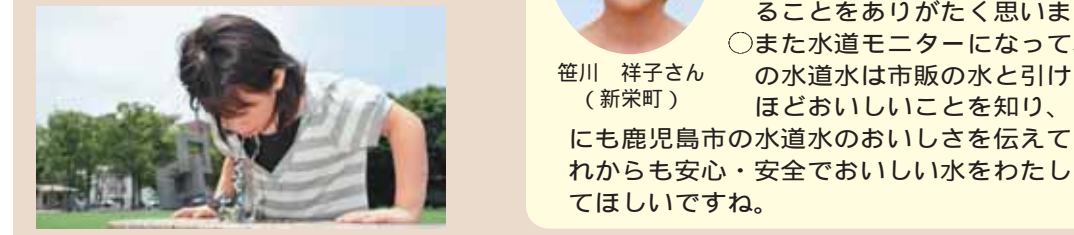
近代水道創設90周年写真展
期間 11月19日(木)~12月3日(木)
場所 市役所東別館1階
大正時代の管路施設工事



河川を水源とする河頭浄水場

安心と信頼の水道 未来まで 鹿児島市水道ビジョン

これから安心・安全でおいしい水を
〇昨年、水道モニターを務めました。河頭浄水場などの施設を見学したり、水道局の取り組みを聞いたりして、私たちの生活に欠かせない、安全で良質な水が多くの人の手によりつくられていることをありがたく思いました。
〇また水道モニターになって、鹿児島市の水道水は市販の水と引けを取らないほどおいしいことを知り、家族や友人にも鹿児島市の水道水のおいしさを伝えていました。これからも安心・安全でおいしい水をわたしたちに届けてほしいですね。



菅川 祥子さん(新栄町)

【基本目標】
1. 安全で良質な水を供給する水道
2. いつまでも安定して供給する水道
3. お客さまとともに歩む水道
4. 災害など危機に備える水道
5. 経営基盤の強い水道
6. 環境にやさしい水道
水道を取り巻く環境
経済情勢 少子高齢化 人口減少 環境問題など
水道事業の現状
水需要の減少 更新需要の増大 水質管理の強化 健全経営への取組 など
お客さまニーズ
安全で良質な水 適切な維持管理 災害対策 環境保全など

厳しい水質管理に取り組みます

安心・安全でおいしい水を皆さんへ
水道局では水源からご家庭の蛇口まで厳しい水質管理を行い、皆さんに安全でおいしい水を届けています。
市内77カ所、水道法で義務付けられている水質基準項目(50項目)、水質管理に必要な水質管理目標設定項目(28項目)に加え、本市独自の水質項目(14項目)を定め、定期的に検査しています。
また市内100カ所、色、濁り、残留塩素濃度を毎日検査しています。水道水の水質はすべて基準に適合しており、安心して飲むことができます。
また水質検査には高性能な設備を用いており、さらに、バイオアッセイによる毒物監視(魚類による毒物監視)など、徹底的な管理を行っています。
詳しい検査結果は水道局ホームページ、水道局情報コーナー、市政情報コーナー、水道局配水管理課 238-2555へ



定期的に採水をして水質を手チェック

ご存じですか おいしい水道水の目安

水道水は、安全であることが第一ですが、安全性だけでなく、おいしさも求められています。
厚生労働省が「おいしい水」の要件を示しており、本市の水道水は表のとおり、この要件をほぼ満たしています。

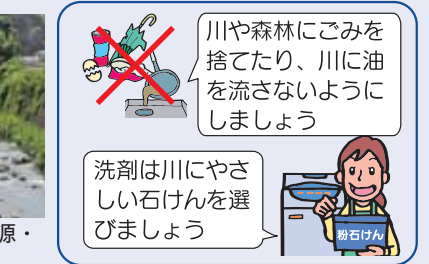
Table with 3 columns: 項目, おいしい水の要件, 本市の水道水
蒸発残留物 30~200mg/l 166mg/l
硬度 10~100mg/l 50mg/l
遊離炭酸 3~30mg/l 6mg/l
有機物など 3mg/l以下 2.0mg/l
臭気強度 3以下 1
残留塩素 0.4mg/l以下 0.5mg/l
水温 最高20℃以下 18.5℃

(表中の本市の数値は平成20年度の年間平均値)
蒸発残留物:主にミネラルの含有量を示す
硬度:ミネラルの中で量的に多いカルシウムやマグネシウムの含有量
遊離炭酸:水にさわやかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる
有機物など:有機物量を示し、多いと渋みをつけ、多量に含むと水の味を損なう
残留塩素:消毒のために必要だが、濃度が高いと水の味を損なう

水道水をおいしく飲むポイント
くみ置きする
一晩、やかんなどで
沸かしてから使う
煮立てから2~3分沸騰
冷やしておく
暑い夏は10~15℃に

みんなで取り組もう 大切な水源を守るために

市民の皆さんに送られている水道の水源は、約6割が河川、約4割がわき水、地下水などとなっています。
そして、本市の豊かな自然に育まれた水源は良好な水質を保っています。
このような素晴らしい水質を誇る水源を次の世代に引き継ぐために、その保全にみんなで取り組みましょう。
川や森林にごみを捨てたり、川に油を流さないようにしましょう
洗剤は川にやさしい石けんを選びましょう



市民生活を支える水源・甲突川